

令和2(2020)年度事業計画

目 次

- I. 日韓経済人会議
- II. 日韓新産業貿易会議
- III. 日韓青少年交流事業（高校生交流キャンプ、学生未来会議）
- IV. 会員向け広報・情報サービス活動
- V. 青少年交流ファンド

2020年3月26日（木）

一般社団法人 日 韓 経 済 協 会

I. 第52回 日韓経済人会議

1. 会議開催計画の概要

本会議は1969年から幾多の困難な状況乗り越え、一度も途切れることなく、日本と韓国の交互で開催しており、本年度は第52回として東京で開催します。

日韓両国の外交関係が大変難しい状況の中ではありますが、未来志向の経済連携の方向性と、日韓に共通する課題の解決方法を探るために、両国の経済人が一堂に会し議論します。

日本と韓国との経済、人材、文化という多層的な交流の取り組みを地道に進め、経済人の絆を深めていくと共に、両国の産業界が成長、発展していくうえで日韓の経済連携の重要性を確認していきます。

(1) 主催：日韓経済協会、日韓産業技術協力財団、韓日経済協会

(2) 日程・場所：2020年11月26日（木）～27日（金）

日本・東京「The Okura TOKYO プレステージタワー」

：韓国側団長団の日本政府への表敬訪問は25日に実施予定

(3) 主要テーマ：『未来を切り拓く日韓協力 －2020 SDG's 新時代－』

(4) 各セッション：講演者については調整中

II. 日韓新産業貿易会議

1. 会議開催計画の概要

本会議は、日韓経済人会議に先立ち、専門部会として日韓で取り上げるテーマをもとに事前に討議を深める狙いで開催されています。毎年、日韓交互で開催し、2020年度の会議は韓国で開催予定です。

2. 2020年度 第21回日韓新産業貿易会議

本会議は、日韓関係が厳しい状況にありながらも、新たな日韓の経済連携の方向

性を議論し、両国経済界の交流の必要性を相互確認する目的で開催します。産業、貿易だけではなく、文化、人材交流も包含する大きな日韓の経済関係を模索していきます。

(1) 日程・場所：2021年3月予定 韓国・ソウル

(2) 主要テーマ：「第53回日韓経済人会議」に先立つ事前会議として、経済人会議で取り上げを予定するテーマをより具体的に掘下げて議論し、課題等を詰めることによって、経済人会議をより有意義で効果的な会議にすることを狙いにしています。日程及び議題は2020年度の「第52回日韓経済人会議」後に確定します。

Ⅲ. 日韓青少年交流事業（高校生交流キャンプ、学生未来会議）

1. 日韓高校生交流事業

(1) 「日韓高校生交流キャンプ」について

① 次世代の望ましい日韓関係構築を目指すため、2004年に「日韓高校生交流キャンプ」が事業化され、これまでの16年間で26回開催し、延べ2,353人の両国高校生が参加しました。

② 2006年度から2年間は、本事業の趣旨に賛同いただいた会社・団体の協賛金・助成金により運営、2008年度から4年間は、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業（JENESYS）」の一環として、(財)日韓文化交流基金からの委託事業の形態で運営しました。

2012年度は日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を基に実施、2013年度以降は日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業（JENESYS）」が復活し、毎年の公募と審査を経て、(公財)日韓文化交流基金企画競争公募事業として、韓国産業通商資源部の支援金を併せて運営しました。なお、2015年度から日本側は参加費を徴収しています。

③ 2020年度は(一財)日韓産業技術協力財団からの賛助を受け実施する計画です。

(2) 「第27回 日韓高校生交流キャンプ」の基本計画について

8月初旬、「自然との共生」をテーマに、栃木県那須高原にて開催する予定です。

(3) 開催案の概略は次の通りです。

① 日程：2020年8月2日（日）～8月6日（木）

② 場所：栃木県「なす高原自然の家」

③ 規模：80名予定（日本の高校生40名、韓国の高中生40名）

2. 日韓学生未来会議

(1) 日韓高校生交流キャンプを起点とした更なる交流の深化と発展のため、2006年に、キャンプ参加学生が自主的にOB・OG会（日本側：JKSFF（Japan Korea Students Future Forum）／韓国側：KJSFF（Korea Japan Students Future Forum））を発足させ、2007年から本格的に交流活動を始めました。この交流活動の年間最大行事として、両国学生が日韓に関わる一つのテーマを決め、一緒に事前研究を重ね、交流会でその成果を発表し、意見交換を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に毎年開催しています。

(2) 「第15回 日韓学生未来会議」を8月に日本で開催する予定です。

IV. 会員向け広報・情報サービス活動

調査・広報活動について

- (1) 『協会報』（月報）の発刊と『日韓経済協会通信』（週報）のメール配信に加えて、韓国の主要な政治・経済・外交動向をリアルタイムに伝える日報も適宜メールで発信していきます。現下の日韓両国において、特に政治・外交面での関係改善に向けた課題が山積する中、提供する情報の充実を図ることは勿論、ホームページについても時宜を得た情報の掲載を心がけます。
- (2) 協会事業等の活動状況については、協会報とホームページにて関連報告を掲載していきます。

V. 青少年交流ファンド

将来の日韓両国の青少年交流を促進するために、2015年日韓国交正常化50周年事業として「日韓青少年交流ファンド」を提案し、設立しました。

本年度も引き続き、趣意書に基づきご理解いただいた企業、団体等への協賛金ご支援のお願いを拡充する予定です。

以上